★★高等学校　１～２年生
（弁護士と学ぶ主権者教育）

来週の講座に向けての準備のお願い！

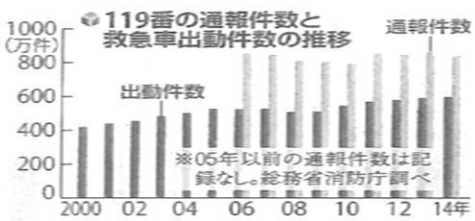
急がないのに119番　7割

全国の消防への119番のうち、病院の場所の問い合わせや軽微なけがの搬送など、「不要」「不急」の通報が約7割に上っていることが分かった。不急を含む119番の内訳が明らかになるのは初めてで、救急現場の負担が増す中、関係者は頭を抱えている。

総務省消防庁が昨年12月に公表した消防白書によると、2014年の119番件数は約842万件あり、うち火災は1％で、救急・救助要請が68％に上る。

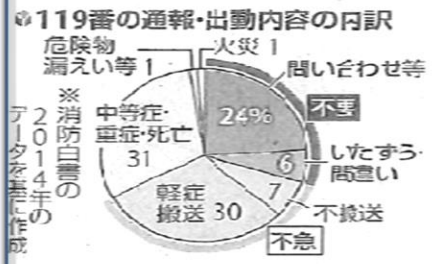
同年の全国の救急車の出動件数約598万件の搬送状況などを分析すると、誰も搬送しなかったケースは約63万件で、通報件数の7％。病院に搬送しても、入院しなかった軽症者数は、通報件数の30％にあたる約267万人で、合わせると4割近くが不急の通報だった。

同庁は、通報件数と出動件数について別々に統計を取っており、通報件数に占める不急の割合は明らかになっていなかった。



一方、白書によると、通報件数のうち、病院やサイレン音の問い合わせなど24％、間違い電話やいたずら電話6％など、救急出動を求めない「不要」の通報が約3割を占めており、不要・不急の119番は約7割に上る。昨年1～11月に全国の警察が受理した110番のうち、緊急を要しない通報は約2割で、119番の不要・不急の多さが際立つ。

通報件数は、白書で統計が公表されるようになった06年以降、毎年ほぼ800万件台で推移している。救急車の出動件数は04年以降、毎年500万件を超え、14年は過去最多を記録。5・3秒に1回、救急車が出動している計算となる。



軽症３割　搬送なし63万件

（平成２８年１月２７日付け読売新聞より）

★★高等学校１～２年生の皆さん、こんにちは！
私は、弁護士の春田久美子といいます。
★月★日（★）の授業では、皆で、「救急車が有料化されるって、どう思う？！」という問題について一緒に考えようと思っています。そこで、上の新聞記事抜粋を読んで、当日の授業までに、以下の点につき、先ずは自分自身で考えておいて下さいね。

＊どうして、有料化の議論が出てきたのか、その理由は何だろう？また、背景としてはどういった問題状況があるのだろうか…想像も含めて考えてみよう！

＊その問題状況を解決するためには有料化しか無いのだろうか？
他に何か良い方法はないのかな……？どんな小さなアイディアでもＯＫなので考えてみて下さい。

＊この新聞記事抜粋を読んで、あなた自身が思ったこと、考えたこと、その他疑問 etc も教えてね！

それでは当日お会い出来ますこと、楽しみにしています！